

WebORCA 構築手順書

日本医師会 ORCA 管理機構株式会社

第 9 版

2022-05-12

更新履歴	3
1. はじめに	5
1.1. 動作環境	5
1.2. お問い合わせ先など	5
1.3. 本番環境/デモ環境	6
2. WebORCA 構築手順の概要	6
3. お申し込み	6
4. 医療機関のテナント準備	8
5. ベンダーにて医療機関に納める PC 等に設定する	8
5.1. グループ診療 削除および抽出	8
5.2. 日レセ 5.1.0 以上へバージョンアップ	9
5.3. データベースエンコード変換	9
5.4. プラグインの削除	10
5.5. データベースのダンプ	10
5.5.1. オンプレの場合	10
5.5.2. 日レセクラウド(ginbee)の場合	11
5.6. WebORCA へ DB インポート	12
5.7. クライアントの設定	12
5.7.1. Google Chrome のインストール	12
5.7.2. 拡張 OS ネイティブモジュールのインストール	12
5.7.3. Chrome 拡張機能のインストール	12
5.7.4. 証明書のインストール	13
5.7.5. Chrome 追加設定	13
5.7.6. WebORCA 接続およびプリンタ設定	14
5.8. 動作確認	15
6. その他	15
6.1. API および Websocket	15
6.2. レセ電ビューア	16
6.3. claim-recevier	17
6.4. オンライン資格確認 (onshi-tools/push-exchanger)	17
6.5. 給管帳クラウド	17
6.6. 日医特定健康診査システム クラウド版	18
6.7. MI_CAN	19
7. 留意事項	20

更新履歴

2021-09-01 : 初版

2021-09-16 : 第 2 版

お問い合わせ先、本番環境/デモ環境、給管帳クラウドを追記

2021-10-01 : 第 3 版

レセ電ビューア、オンライン資格確認(onshi-tools/push-exchanger)、日医特定健康
診査システム クラウド版、MI_CAN を追記

2021-10-26 : 第 4 版

MI_CAN の対応状況を記載

2021-12-03 : 第 5 版

オンプレからの移行手順を修正

日医特定健康診査システム クラウド版の対応状況を更新

2021-12-03 : 第 6 版

動作環境を修正

Chrome 追加設定を修正

2022-01-15 : 第 7 版

サーバ証明書入替対応

2022-03-24 : 第 8 版

Chrome 追加設定を修正

2022-05-12 : 第 9 版

部数印刷の設定を修正

クライアント保存の説明を修正

1. はじめに

本手順書では WebORCA の構築手順について記載しています。

1.1. 動作環境

WebORCA の動作環境は以下のとおりです。

■OS

Windows10 (Home/Pro) ※64bit 版のみ

Windows11 (Home/Pro) ※64bit 版のみ

macOS 11 (Big Sur)

macOS 12 (Monterey)

■ブラウザ

Google Chrome

1.2. お問い合わせ先など

営業面でのご相談、契約、支払いなど手続き等導入までに係る内容について

weborca-application@orcamo.jp

導入に係る手順(インストール等)導入後の運用保守について

weborca-support@orcamo.jp

メンテナンス等のサービス停止に関するお知らせメールリングリスト

<https://www.orcamo.jp/mailman/listinfo/weborca-announce>

1.3. 本番環境/デモ環境

本運用の環境を本資料では本番環境と呼んでいます。

本番環境以外に、認定事業所および API 協議会会員向けに検証用等を目的としたデモ環境があります。

利用される環境により接続先等が異なりますので、ご注意ください。

2. WebORCA 構築手順の概要

WebORCA を利用するためには大きな手順は下記のとおりです。

- (1) お申し込み
- (2) 日本医師会 ORCA 管理機構にて医療機関のテナント (WebORCA の動作する環境) を用意し、利用に必要な証明書を CD にて郵送
- (3) ベンダーにて医療機関に納める PC 等に設定する

3. お申し込み

下記 URL より WebORCA およびセキュリティーサービス申込書兼同意書および支払方法申込書をダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、日本医師会 ORCA 管理機構へお送りください。

<https://www.orca.med.or.jp/weborca/>

利用開始までお時間をいただく場合がありますので、お申し込みから利用開始までの期間が短い場合は、郵送前に事前にお問い合わせをお願いします。

お問い合わせ先 : weborca-application@orcamo.jp

4. 医療機関のテナント準備

お申し込み内容を弊社にてチェックさせていただき、問題ない場合は医療機関のテナントを準備します。

その後、日レセクラウド(ginbee)をご利用ではない医療機関には利用に必要な証明書をCDにて郵送もしくはオンラインストレージにて受け渡しをおこないます。

パスワードで保護した状態でCDを作成もしくはオンラインストレージへアップロードします。パスワードは別途メールにて通知します。

日レセクラウド(ginbee)をご利用の場合は、日レセクラウド(ginbee)で利用していた証明書がそのままご利用いただけます。

5. ベンダーにて医療機関に納めるPC等に設定する

以下の流れでご利用いただくPC等に設定をおこないます。

5.1. グループ診療 削除および抽出

この手順はオンプレ環境でグループ診療環境を構築している場合に**必須**です。

日レセクラウド版(ginbee)をご利用の場合やオンプレでグループ診療環境を構築していない場合はスキップしてください。

WebORCAではオンプレでグループ診療の設定したデータベースを移行することができません。

1つのデータベース内に、1つの医療機関のみとなるよう、削除および抽出をおこなってください。

削除および抽出の手順については、以下のWebサイトをご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/grp.html>

5.2. 日レセ 5.1.0 以上へバージョンアップ

この手順はオンプレ環境で日レセ 5.0.0 の場合に**必須**です。

日レセクラウド版(ginbee)をご利用の場合や、オンプレで日レセ 5.1.0 または 5.2.0 をご利用の場合はスキップしてください。

バージョンアップは下記をご参照ください。

日医標準レセプトソフト ver 5.1.0(xenial/bionic)の提供

https://www.orca.med.or.jp/receipt/update/package_5/ver510.html

日医標準レセプトソフト ver 5.2.0(bionic/focal)の提供

https://www.orca.med.or.jp/receipt/update/package_5/ver520.html

日レセ運用環境移行手引き

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/migration.html>

バージョンアップ後、プログラム更新、マスタ更新をおこなって最新の状態にしてください。

5.3. データベースエンコード変換

この手順はオンプレ環境でデータベースエンコードが EUC-JP の場合に**必須**です。

EUC-JP のまま WebORCA へ DB インポートをおこなうと一部データが呼び出せない等の不具合が発生する可能性がありますので必ず実施してください。

日レセクラウド版(ginbee)をご利用の場合や、オンプレの DB を UTF-8 で利用されている場合は手順をスキップしてください。

エンコード確認方法

端末より以下のコマンドで実行

```
$ sudo -u orca psql -l
Name | Owner | Encoding | Collate | Ctype | Acces
-----+-----+-----+-----+-----+-----
orca | orca | EUC_JP   | C       | C     |
~(略)~
```

データベース名 “orca” のエンコードが” EUC_JP” となっている場合は変換します。

データベース変換手順は下記をご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/jisx0213/encode.html#DBENCODING>

日レセクライアントを起動させてデータ内容を確認する。

※文字化け、患者件数など

5. 4. プラグインの削除

プラグインで組込情報が残っていると WebORCA へ移行後、正しく表示できない可能性があります。

プラグイン画面より組み込まれているプログラムを削除してください。

5. 5. データベースのダンプ

5. 5. 1. オンプレの場合

以下のコマンドを実行して、ミドルウェアのバージョンを最新にします。

```
$ sudo apt-get update
$ sudo apt-get dist-upgrade
```

日レセクライアントを起動後、プログラム更新、マスタ更新を実行し最新にします。

以下のコマンドを実行して、不要なテーブルを削除する。

```
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/ginbee/fix_db_20170922.tgz
$ tar xvzf fix_db_20170922.tgz
$ sudo -u orca psql orca < fix_db_20170922.sql
```

※不要なテーブル削除時に、該当テーブルが存在しない旨のメッセージが表示される場合もありますが、その際は無視して問題ありません。

以下のコマンドを実行して、データベーススキーマチェックを実行する。

```
$ cd /tmp
$ rm -f jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ rm -rf jma-receipt-dbscmchk
$ wget http://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ tar xvzf jma-receipt-dbscmchk.tgz
$ cd jma-receipt-dbscmchk
$ sudo bash jma-receipt-dbscmchk.sh
```

上記でエラーがないことを確認してください。

エラーが発生した場合は、個別対応をおこないますので、ORCA サポートセンターへお問い合わせください。

お問い合わせ先 : weborca-support@orcamo.jp

以下のコマンドを実行し、データベースのダンプファイルを作成します。

```
$ sudo systemctl stop jma-receipt
$ sudo -u orca pg_dump -Fc orca > orca.dump
```

5.5.2. 日レセクラウド(ginbee)の場合

システム管理サイトにログインし、DB ダンプからダンプファイルを取得します。

DB ダンプは「医療機関向けシステム管理サイトアクセス手順」を参照してください。

<https://www.orca.med.or.jp/ginbee/#15>

5.6. WebORCA へ DB インポート

システム管理サイトにログインし、DB インポートをおこないます。

DB インポートは別紙-システム管理サイトアクセス手順書を参照してください。

<https://www.orca.med.or.jp/weborca/#15>

5.7. クライアントの設定

5.7.1. Google Chrome のインストール

Google Chrome をインストールする。

https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/

5.7.2. 拡張 OS ネイティブモジュールのインストール

拡張 OS ネイティブモジュールをインストールする。

<https://www.orcamo.co.jp/products/extensions.html>

5.7.3. Chrome 拡張機能のインストール

Chrome 拡張機能をインストールする。

<https://chrome.google.com/webstore/detail/orcamo%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%83%89%E6%8B%A1%E5%BC%B5/glokdofbfejoahcgamdejijoeclgf?hl=ja>

5.7.4. 証明書のインストール

別紙-証明書インストール手順書を参照してください。

<https://www.orca.med.or.jp/weborca/#15>

5.7.5. Chrome 追加設定

(1)

ダイレクトプリントのためダウンロード先が固定とする必要があります。

アドレスバーに `chrome://settings/downloads` を入力し、下記のとおり設定します。

保存先：

Windows：C:\Users\ユーザー名\Downloads

macOS：/Users/ユーザー名/Downloads

ダウンロード前に各ファイルの保存先を確認する：OFF

(2)

連続してPDFをダウンロードするとブラウザがセキュリティ確認のためブロックしてしまうので許可設定を追加します。

アドレスバーに `chrome://settings/content/automaticDownloads` を入力し、「複数のファイルの自動ダウンロードを許可するサイト」の「追加」ボタンをクリックし、

`https://[*.]orcamo.jp` を追加する。

(3)

プレビュー表示のため Chrome 内で PDF を表示する設定にする必要があります。

アドレスバーに `chrome://settings/content/pdfDocuments` を入力し、「サイトにアクセスしたときにこの設定の動作を自動的に行います」の設定を「Chrome で PDF を開く」をチェックしてください。

(4)

連続して印刷プレビューするとブラウザがセキュリティ確認のためブロックしてしまうので許可設定を追加します。

アドレスバーに `chrome://settings/content/popups` を入力し、「ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト」の「追加」ボタンをクリックし、

`https://[*.]orcamo.jp` を追加する。

5.7.6. WebORCA 接続およびプリンタ設定

Google Chrome で下記にアクセスする。

本番環境：<https://app.weborca.orcamo.jp/>

デモ環境：<https://app-demo.weborca.orcamo.jp/>

本番環境：<https://weborca.cloud.orcamo.jp>

デモ環境：<https://demo-weborca.cloud.orcamo.jp>

ログイン画面の右上の歯車マークよりプリンタ割り当て設定が可能です。

【重要】

印刷はクライアント印刷設定が必要です。

下記オンラインマニュアルを参考に設定をおこなってください。

<https://manual.orca.med.or.jp/5.2/html/?chapter=2.10.2>

5.8. 動作確認

クライアントを接続し、マスタ更新、プラグインの組込をおこない、動作確認をおこないます。

【動作確認のポイント】

- (1) データが移行されているか
 - ・ 患者数
 - ・ 最終登録データ
- (2) テスト患者の登録に問題ないか
- (3) 窓口帳票の印刷に問題ないか
- (4) 日次統計、月次統計の処理および印刷に問題ないか
- (5) レセプト作成の処理および印刷に問題ないか
- (6) レセ電作成処理およびファイル保存に問題ないか
- (7) 社保総括表、国保総括表、後期高齢者総括表、地方公費帳票の処理および印刷に問題ないか

6. その他

6.1. API および WebSocket

■API

本番環境：<https://app.weborca.orcamo.jp>

デモ環境：<https://app.demo.weborca.orcamo.jp>

本番環境：<https://weborca.cloud.orcamo.jp>

デモ環境 : <https://demo-weborca.cloud.orcamo.jp>

※ポート番号はデフォルトの 443

注意

WebORCA では FQDN の後ろに /api の追加が必要です。

(例) 受付一覧

本番環境 :

<https://weborca.cloud.orcamo.jp/api/api01rv2/acceptlstv2?class=01>

デモ環境 :

<https://demo-weborca.cloud.orcamo.jp/api/api01rv2/acceptlstv2?class=01>

■ PUSH 通知 (Websocket)

本番環境 : ~~wss://app.weborca.orcamo.jp/ws~~

デモ環境 : ~~wss://app.demo.weborca.orcamo.jp/ws~~

本番環境 : <wss://weborca.cloud.orcamo.jp/ws>

デモ環境 : <wss://demo-weborca.cloud.orcamo.jp/ws>

6.2. レセ電ビューア

レセ電ビューア バージョン 2.4.0 以降 で WebORCA に対応しています。

インストール、利用方法については下記ページをご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/jma-receview.html>

WebORCA の接続設定については下記ページをご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/weborca/#26>

6.3. claim-receiver

API URL 変更に伴い、config.yml の記述変更が必要です。

```
:api_path:      /api21/claimreceivev2
```

↓

```
:api_path:      /api/api21/claimreceivev2
```

設定詳細は下記に掲載の資料をご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/weborca/#22>

6.4. オンライン資格確認 (onshi-tools/push-exchanger)

インストール、利用方法については下記ページをご参照ください。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/use/jma-onshi.html>

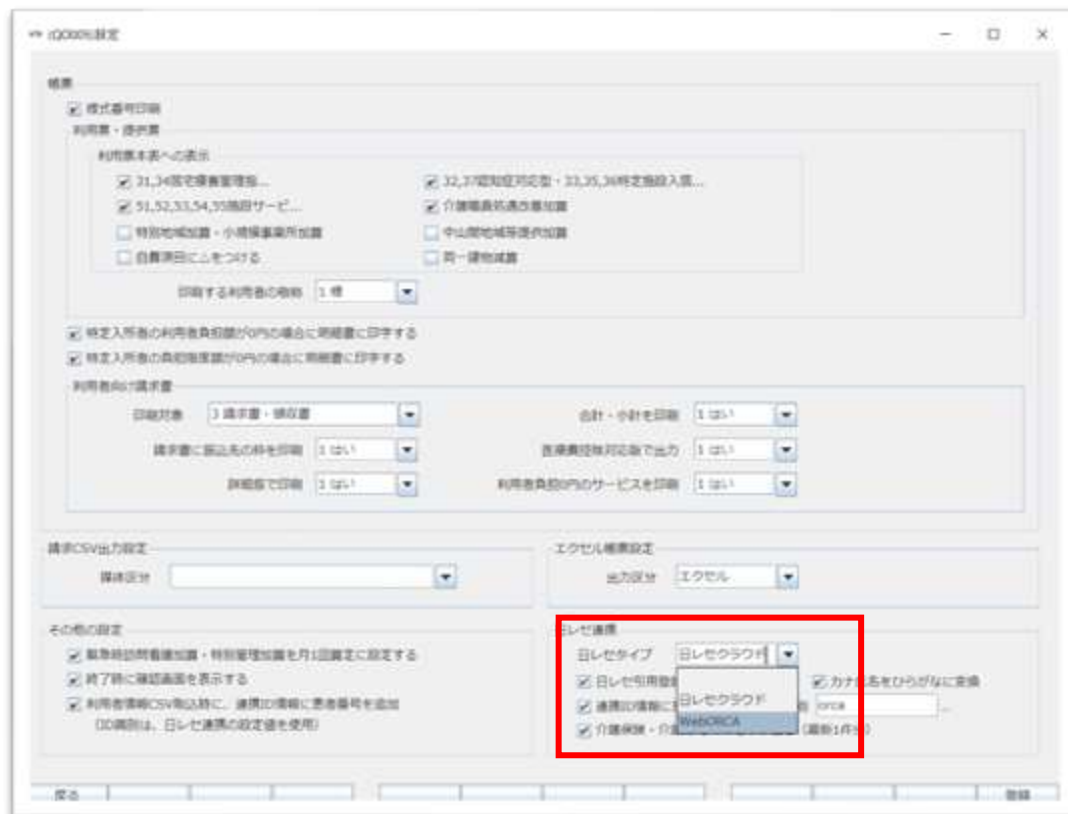
上記手順で記載されている push-exchanger は未対応版となっていますので、下記より WebORCA 対応版をダウンロードしてください。

<https://www.orca.med.or.jp/weborca/#28>

6.5. 給管帳クラウド

WebORCA と給管帳クラウドを連携する場合、給管帳クラウドの設定が必要です。

業務開始ー各種メンテナンスー設定から日レセ連携の日レセタイプを「WebORCA」に設定して登録してください。



6.6. 日医特定健康診査システム クラウド版

WebORCA と特定健診クラウド版を連携する場合、特定健診クラウド上にて設定が必要です。画面右上のユーザ名を押下し、「ユーザビリティメンテナンス」から日レセクラウド連携先を「WebORCA」に設定し、登録してください。



6.7. MI_CAN

2021-10-21 リリースの Ver3.0.0 にて WebORCA に対応しました。

詳細は MI_CAN 公式サイト <https://www.orca.med.or.jp/mican/index.html> をご参照ください。

7. 留意事項

- (1) Chrome のダウンロード保存先をデフォルトの「ダウンロード」フォルダから変更しないようお願いします。変更した場合、印刷が正しくおこなわれません。
ダウンロード保存先が「ダウンロード」フォルダとなることから、~~レセ電ファイル等のクライアント保存先も「ダウンロード」フォルダになります。~~

OS ネイティブモジュール(1.0.2)および Chrome 拡張(1.0.5)をインストールした環境では、クライアント保存では保存先を選択するためダイアログが表示されます。

- (2) 複数部数印刷の設定は、1031 出力先プリンタ割り当て情報に部数指定(#部数)が必要です。

ORCAMOクラウド拡張 拡張機能バージョン: 1.0.4
連携アプリバージョン: 1.0.1

プリンタ設定 プリンタ追加

lp1	RICOH SP 3610SF Printer	削除
lp2	RICOH SP 4510 JPN	削除

キャンセル 完了

一般 入院	
帳票名	プリンタ名
診療録 (カルテ 1号紙)	lp1#2
処方せん (院外)	lp1
請求書兼領収書	lp1
診療報酬明細書 (レセプト)	lp1
総括表/保険請求書	lp1
各種統計表	lp1
受付一覧	lp1
薬剤情報提供書	lp1
支払証明書 (日別)	lp1
診療録 (カルテ 3号紙)	lp1
データチェック	lp1
支払証明書 (月別)	lp1

- (3) 1031 出力先プリンタ割り当て情報に設定されたプリンタ名が WebORCA 設定画面に存在しない場合、OS デフォルトに設定されたプリンタに出力されます。
- (4) 印刷時、印刷用の PDF ファイルをダウンロードするため、ブラウザ下部にポップアップが表示されます。既知の動作としてご了承ください。
- (5) ブラウザの×ボタンを押下した場合、セッションを削除して終了します。
排他ロックしないようになってはいますが、閉じる前に確認メッセージは表示されませんので、ご注意ください。
- (6) API キーは日レセクラウド (ginbee) のものと異なります。
API キー確認方法は別紙-システム管理サイトアクセス手順書をご参照ください。
- (7) ブラウザで動作する特性上、01 医事業務-91 マスタ登録-101 システム管理マスタ-1003 医療機関情報-広告の「ユーザ URL 設定」は http を設定しても https での通信します。
設定する Web サーバが https 対応が必須となりますので、ご注意ください。

- (8) マスタ更新は旧バージョンの日レセクラウド(ginbee)と異なり、画面操作して実行が可能になっています。

なお「すべてのクライアント切断後3時間」のタイミング、プログラム更新と同時にマスタ更新が必要な場合は自動更新がおこなれますが、マスタメニューのマスタの最終更新日を確認の上、手動での更新も併せて実施をお願いします。

- (9) プリンタおよびプリンタドライバによって、用紙サイズが正しく判別できずプリンタ設定に指定された用紙に拡大縮小されて印刷されます。
正しく印刷できない場合は、用紙サイズ A4 用プリンタ、用紙サイズ A5 用プリンタを作成してプリンタを割り当ててください。